

みずほCustomer Desk Report 2017/08/14 号(As of 2017/08/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	109.10	1.1770	128.42	0.9618	1.2978	0.7868
SYD-NY High	109.40	1.1848	129.15	0.9638	1.3032	0.7909
SYD-NY Low	108.72	1.1749	128.05	0.9583	1.2939	0.7839
NY 5:00 PM	109.17	1.1818	129.07	0.9618	1.3012	0.7895
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		9.12/9.57	△25RR	1.548	Yen Call Over	
NY DOW	21,858.32	14.31	債券市場	日本2年債	-0.1070	-
NASDAQ	6,256.56	39.68		日本10年債	0.0630	-
S&P	2,441.32	3.11		米国2年債	1.2940	▲3.1bp
日経平均	-	-		米国5年債	1.7429	▲2.8bp
TOPIX	-	-		米国10年債	2.1888	▲0.9bp
シカゴ日経先物	19,410.00	45.00		独10年債	0.3820	▲3.3bp
ロンドンFT	7,309.96	▲79.98	為替市況	英10年債	1.0620	▲2.0bp
DAX	12,014.06	▲0.24		豪10年債	2.5880	▲6.9bp
ハンセン指数	26,883.51	▲560.49		USD/CNH	6.6766	0.0099
上海総合	3,208.54	▲53.21	商品市況	ドルインデックス	93.07	▲0.33
USDJPY 3M Vol	9.62	0.15%		CRB指数	179.606	0.69
USDJPY 6M Vol	9.71	0.12%		NY金	1,294.00	3.90
EURJPY 3M Vol	10.07	0.15%		WTI	48.82	0.23
EURJPY 6M Vol	10.25	0.15%		Dubai Spot	49.90	▲1.67

アジア	アジア時間のドル円は109.10レベルで取引を開始。北朝鮮リスクが引き続き意識されたことや前日の米7月PPIの下振れ、Fed高官のハ寄りの発言等によるドル売り円買いの流れが継続し、じりじりと値を下げる展開。一時108.91まで下落する展開となった。その後は直近安値である108.81がサポートラインとして意識され下げ止まり、109.19レベルでロンドンに渡った。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.19レベルでオープン。米朝間の応酬がエスカレートする中、安全資産に逃避する動きが強まり円が買われる展開。アジア時間の安値近辺(108.92円)まで下落した後は週末を控えたボジション調整から反発し、109.14レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2983レベルでオープン。中国鋼鉄工業協会(CISA)が鉄鋼価格の上昇について「需要に基づくものではなく投機」と一蹴したこと、英資源株が下落、ロンドン市内地下鉄駅での火災発生でテロへの警戒感を再燃したことも相俟って、ポンドドルは1.2951まで軟調に推移。1.2975レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1764レベルでオープン。1.17半ばに大口のNYカットポジションが控えていることから同レベル付近で小動きする展開。1.1759レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルアリ- 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	引き続き北朝鮮情勢を受けたリスク回避の動きが続き108.91まで下落したドル円は、ショートカバーからやや値を戻し109.14レベルでNYオープン。朝方発表された米7月CPIはエネルギー物価が3ヶ月連続でマイナスとなったこと等から予想程上昇せず、ドル売りが強まり108.72まで下落する。しかしこの結果は今後のFedの政策に変更は無いとの見方から、ドルが買い戻され109.40まで戻す。その後はカブラン・ダラス連銀総裁の「FRBはバランスシート縮小を開始するのが健全」等の発言が伝わるがドル円の反応は限定的となるが、ハ派で知られるカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁の「経済指標は私の金融政策に対する見方を裏付けている」等の引き続きハ派な見方が伝わったこともあり、徐々に米金利が低下する動きにドル売りが優勢となり108.93まで反落。午後は週末を控えた調整中心の値動きとなり、109.17レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1759レベルでNYオープン。朝方は米CPI結果を受けたドル売りに1.1835まで上昇するが、利益確定の売りが持ち込まれ1.1778まで反落する。午後に入りドル売りが強まり1.1848まで戻すが、週末を控えその後は閑散な取引が続き、1.1818レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
8月11日	-	日	東京祝日(山の日)		
	15:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	7月 0.4%/1.7%	0.4%/1.7%
	15:00	独	EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	7月 0.4%/1.5%	0.4%/1.5%
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	7月 0.1%/1.7%	0.2%/1.8%
	21:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	7月 0.1%/1.7%	0.2%/1.7%
	22:40	米	カブラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
8月12日	00:30	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

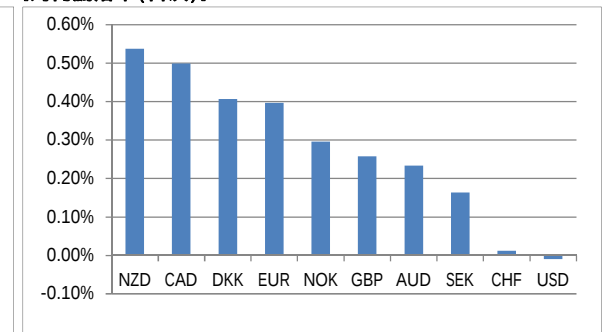
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
8月14日	08:50	日	GDP(前期比/前年比)・速報	2Q 0.6%/2.5%	0.3%/1.0%
	11:00	中	小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	7月 10.5%/8.6%/6.9%	10.4%/8.6%/6.9%
	18:00	欧	鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 -0.5%/2.8%	1.3%/4.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-109.50	1.1750-1.1850	128.50-129.50

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は引き続き北朝鮮リスクが煽る中、上値の重い展開。北米時間に発表された米7月CPI(前月比)が市場予想を下回ったことを受け、一時108.72まで下落する場面が見られたものの、前日発表された米7月PPI(前月比)も同様に予想比弱めの数字だったことからすでに織り込み済みだったのか、すぐに反発して109.40を付けた。その後は109円近辺で揉み合い推移が続いた後、同水準でクロースした。本日は引き続き上値の重い展開を予想する。日中は本邦勢がお盆休みで不在となる中、動きづらい展開が続くと思われる。引き続き北朝鮮関連のヘッドラインが意識される展開が想定され、上値の重い相場が続くだろう。